

宮崎の交通が もっと便利になりました

11月14日、全国相互利用交通系ICカード「SUGOCA（スゴカ）」、「nimoca（ニモカ）」導入を祝う記念式典が宮崎駅前で行われました。ICカードは、全国で相互利用できる交通機関の運賃や商業施設などでの支払いに利用でき、宮崎に住む人はもちろん、宮崎を訪れる人の利便性向上にもつながる大きな一歩となりました。



皇太子殿下がご来県されました

11月9日・10日、「第18回全国農業担い手サミット in みやざき」にご臨席のため、皇太子殿下がご来県されました。宮崎市民文化ホールで開催された式典ではお言葉を賜り、農業関係者の大きな励みとなりました。ご滞在中は、青年農業者とのご交流や、宮崎県の口蹄疫からの再生・復興の取り組みのほか、市総合福祉保健センターをご視察されました。

Miyazaki Topics

宮崎市
旬の話題 “みやトピ”

両球団に伊勢エビを贈呈しました

読売ジャイアンツと福岡ソフトバンクホークスが市内で秋季キャンプを行い、期間中は多くのファンでにぎわいました。市では、選手の皆さんの活躍を願って両球団を激励。特産品の伊勢エビを贈呈しました。



小戸之橋新設工事が始まりました

建設から約50年が経過し、老朽化が著しく安全面に不安があった小戸之橋。その撤去が完了し、新しい橋を架ける工事を始めるにあたって、11月11日に安全祈願祭が行われました。

これから、平成33年3月の完成を目指して工事を進めていきます。完成までの間、ご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

↓ 昭和59年1月号が電子書籍で読める！



私たちネズミ年生まれ
今年一年がんばります！

今回の旅行先 昭和59年

初夢 21世紀の宮崎

今回発掘するのは、昭和59年1月号の「初夢 21世紀の宮崎」です。21世紀まで十数年……。初夢として21世紀の宮崎を描いています。昭和59年は市制60周年という節目の年にあたり、変わりゆく宮崎市の姿を昭和58年の写真で振り返るとともに、21世紀を目指した新しいまちづくりの第一歩の年になるとしています。



※QRコードの読み取りには、アプリ「QR・JANコード読み取りバーコードリーダー」を推奨しています。



昭和24年から続く市広報みやざきが電子書籍で閲覧できる「宮崎市アーカイブス」
ここでは、時代を感じさせる過去の面白い記事を発掘します！



宮崎港：平成2年に大阪とを結ぶフェリーが就航し、現在は神戸航路へ。 宮崎駅：平成5年、高架化により新駅舎完成

当時、市広報紙の作成を担当していました。市制60周年の1月号ということで、市民の皆さんが、大きく変わりゆく21世紀の宮崎を初夢として想像しやすいよう、新幹線や衛星と通信する自動車などをイラストで描いたことを覚えています。地図を見ながら、これからの宮崎を想像してはいかがでしょうか。きっと楽しいですよ。

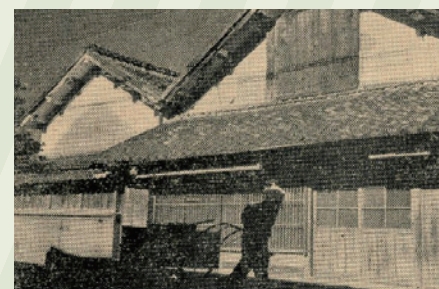


木元 克己さん
(64歳)

地名むかしむかし 2015 ⑧ 「じょうがさき」

昭和35年4月号から1年間連載されていた「地名むかしむかし」。市内のいろいろな地名の由来を当時の文章のままお届けします。

昭和35年12月号より



今では見られなくなった白かべ造りの家並み

城ヶ崎という名の由来を考ゆるに、城ヶ崎のケというの「の」という意味で、崎は岬である。だから城ヶ崎は城のある岬ということである。城というのは皆井城が古来有名で、この城は伊東氏の支族曾井氏の居城であったが、後に伊東氏が取った。この城の城下の港という意味と思われる。

城ヶ崎は大淀川の南岸で河口に近い集落である。（中略）むかしは赤江港の港町としてずいぶん栄えたところである。「赤江城ヶ崎や撞木の町よ、金がなければ通れぬ」有名な俚謡であるが、「またと行くまい丹後の宮津、しまの財布が空になる」という天の橋立の唄と比らぶべきもので、金があれば通れないほどの消費都市であったのである。（中略）